

多様な医療ニーズに対応できる人材を育成する

薬物療法インテンシブコース概要

研修の専門分野	各種固形がん、造血器腫瘍などのがん薬物療法
コース概要	がん専門医養成コースで行われている腫瘍学を受講し、基礎的事項として、がんの生物学、病理学、遺伝学、薬理学、疫学などを学習し、生物学的特性に基づいたがん治療戦略の考え方を理解する。がんの診断、治療の総論として、薬物療法、外科療法、放射線療法の基本的事項、抗がん剤の種類と作用機序、薬理動態、毒性とその対策、患者とのコミュニケーションや緩和ケアのあり方を学ぶ。各論として、造血器、呼吸器、消化器のがん、乳がん、婦人科がん、泌尿器がん、頭頸部腫瘍、小児がん、骨・軟部腫瘍、原発不明がんなどの各臓器がんの標準的治療の内容を学習する。さらに、兵庫医科大学病院がんセンターの職種横断的な症例検討会に参加して治療方針の決定過程、標準治療の内容、治療中・後の管理方法、インフォームド・コンセントの実際、がんのチーム医療、全人的診療の実際を体験する。
修了要件 及び履修方法	がん薬物療法コースで実施する腫瘍学Ⅰ～Ⅱを履修し、兵庫医科大学病院がんセンターまたは連携病院において4週以上の臨床実習を実施する。実習においては血液、呼吸器、消化器、乳腺などの頻度の多い腫瘍のうち3領域以上のがん化学療法を経験する。修了者にはがん薬物療法研修修了書を授与する。
修練内容	[下記を履修し、必修単位数を習得したと見做された者を修了者とする] ◆講義：腫瘍学Ⅰ基盤講義（医療現場・学際領域）～腫瘍学Ⅱ横断講義（予防・研究開発） ※オンライン学習（e-learning） ※講義の日程や内容は変更になる場合があります。 ◆実習：240時間